



講座のアピールポイント

看護医科学（基礎）では、ヒトに感染症・腫瘍などを起こす各種微生物の性状とその病原性発現機序、微生物に対する身体の防御反応を解明することおよび、それらが引き起こす感染症から人々を守るための効果的な予防法、並びに健康政策の根拠を得るための政策疫学などを主な研究・教育の対象としています。

変化し続ける感染症や生活習慣病に対応するために、学生や専門家のみならず、地域の方々に対して、感染症や生活習慣病に関する対策や消毒などに関する正しい情報の提供や感染対策および生活習慣病対策の啓発等のお手伝いも実施しています。

感染対策や生活習慣病対策などにご興味のある方は、当研究室にお知らせください。

講座研究紹介

当講座が実施しているレトロウイルスの病原性機構に関する研究やウイルス感染受容体の発現制御機構とウイルス感染に影響を及ぼす宿主因子の解明などは、国際的に評価される雑誌に論文掲載されています。さらに、当講座がお手伝いをしている茨城県庁の茨城県健康研究に関して、英文の専門誌に多数の論文が掲載されています。

また、医療関連感染の制御や各講座が対象とする疾病に関わるさまざまな研究を医師のみならず、看護師、検査技師など他職種間で連携しつつ、研究協力もしています。ご興味のある方は、当研究室にお知らせ下さい。本学以外のご所属の方もご遠慮なくご相談ください。